

寺報は無料、不要の方は一報下さい。

第201号

龍源寺報

秋彼岸号

臨濟宗・妙心寺派
住職 松原信樹
佛母寺住職 松原覺樹
正福寺住職 松原行樹
TEL 3451-1853
FAX 3451-6094

振込 00160-0-104918 東京都港区三田5丁目9-23 (郵便番号 108-0073)

Email: info@ryugenji.com

URL: http://www.ryugenji.com

秋彼岸に思う

先日、「いのちを活かすとは、どういうことか」という課題を、偉い和尚さんから与えられた。そのことに関して、随分前から、食について思っていたことがある。それは、テレビで見たグルメ番組であったりするのだが、非常に食を粗末にしている。見るに堪えられない。おさしみにしても、私達は、お魚の「いのち」をいただいている。その「いのち」の根源が、もし、神や仏であつたら、こんなに、神や仏を侮辱した行為はない。「いのち」の重さに関して言えば、私もお魚と同じである。今一度、私達は、生活を省みなければならぬ。禅寺で朝と昼に読まれる『食事五観文』という食前の言葉を紹介したい。

一つには、功の多少を計り、彼の来處を量る。
(この食物は、多くの人びとによって作られ、運ばれ、調べられたことを感謝します)／二つには、己が徳行の全欠をはかつて供に応ず。(この食物をとる資格が私にあるだろうか、自分自身を見つめてみます)／三つには、心を防ぎ、過食等を離るるを宗とす。(どんな食物でも、こたわつたり、かたよつたりしません)／四つには、正に良薬を事とするは形枯を療ぜんが為なり。(この食物には、天

地のいのちが宿されていることを思います)／五つには、道業を成ぜんが為に將にこの食をうくべし。(わたしに与えられた使命を果たすために、この食事をいただくことを誓います)

哲明和尚が、あるお檀家さんに言っていた。「あのね、人が亡くなる最期の時があるでしょ。よく人は、その時に、頭の中に浮かんでくるものは、家族の事とか愛おしい人とか思い出すって言うけれど、あれは、どうかと思うんだよね。結局死ぬときは、自分のことしか、考えないじゃないの」と。なんとも、哲明和尚らしい言葉である。要するに、私にとって切実な問題は、私を知らない人にとつて、どうでもいい問題であるということである。実は、このことについては、私自身も家族を亡くした時、痛感したことである。例えば、電車の中で私の隣に座っている面識のない人には、私が家族を失った悲しみなど、全く関係ないのである。だから、私達は、切実な苦しさや楽しさを含めて、他人には絶対に関り得ない個々に持っているものを大切にしなければならない。おそらく人が幸せを感じるには、苦しみが必ず条件になるし、苦しみを感ずるには、幸せが条件になると思う。辛いことや悲しみ、楽しみ、どちらか一方が永遠に続くことは絶対にない。存在とは、きっとそういうものなのであろう。

観音堂寄付

金三万円 勝田 明子殿

経蔵寄付

金五万円 守屋 愛子殿

金三万円 熊田 順正殿

金五万円 武内 隆幸殿

金三万円 齊藤 敏正殿

ありがとうございました

*経蔵建立のこと

泰道和尚から三代続く境内整備の事業を引き続き私の代でも継承し、将来は、境内の一角に『大般若経』を納める経蔵を建立したいと思っております。『大般若経』を納める所以は、泰道師・哲明師が、『般若心経』を説き続けてきたことによります。『大般若経』の写経も順調に進んでおります。ご寄進はその基金にさせていただきます。

秋ひがん法要

左の通り行ないます。ご家族そろってお参りください。

一、九月二十三日・秋分の日（午前十一時より）

一、読経

一、法話

一、齋座（おとぎ）

※駐車場はありません。南北線をご利用ください。

龍源寺への交通の便（地下鉄）

● 都営三田線（目黒または三田、南北線は白金高輪駅下車。徒歩五分）

● 2番出口から地上に出ると案内看板に「龍源寺」名あり

龍源寺への交通の便（都バス）

● 田 87 渋谷駅ー田町駅 魚ラン坂下下車

● 都 06 渋谷駅ー新橋駅 古川橋下車

● 品 97 品川駅ー新宿駅西口 魚ラン坂下・古川橋下車

● 反 96 五反田駅ー品川駅ー六本木ヒルズ（循環）

● 東 98 東京駅丸の内南口ー目黒駅 魚ラン坂下下車

龍源寺の定例会

禅の会・TKC坐禅会・仏像を彫る会

禅の会（坐禅体験）

指導・松原信樹

定例日・毎月第一土曜日。（一月は、午後の部のみ開催）

時間（二回） 午前十時～十二時

午後一時三十分～三時三十分

内容・坐禅とお話

会費・来会の時二百円

その他・晩夏又は初秋に北軽井沢・日月庵でも開催

サラリーマンの方・女性の方・学生・会社の社長さん様々です。大体五十人～八十人位。

年二回春と秋に行われる軽井沢「作務の会」も長年にわたる恒例行事のひとつです。

TKC坐禅会

指導・松原信樹

定例日・毎月第一土曜日

時間・午前八時～九時

会費・千円

第一土曜日の朝八時から読経、坐禅をし、お話があります。

TKCとは税理士さんのグループで、皆さん熱心に坐禅をされております。

仏像を彫る会

指導・三木童心

定例日・毎月第二土曜日、第四土曜日

時間・午前十時三十分から

十二時三十分（初心者）、

午後一時三十分から四時

会場・龍源寺花園会館

会費・二千円

北軽井沢・日月庵「禅の会」

北軽井沢日月庵坐禅堂にて毎年恒例の「禅の会」を開催いたします。秋の日月庵禅の会は、作務（布団の整理・枝打ちなど）・坐禅・そして、ささやかな親睦会を行います。坐禅の時間は、さほどとれませんが、坐禅初心者の方にはよろしい機会かと思えます。万障お繰り合わせの上、是非ご参加いただければと思います。

日時・平成二十五年十月十九日（土曜日）

～二十日（日曜日）一泊二日

日月庵に現地集合・現地解散

十月十九日・午前十時、星雲苑研修所集合 ※昼食は持参してください。

十月二十日・午前十時頃解散

持ち物・シートとタオル2枚

所在地・群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢

日月庵坐禅堂

電話番号・〇二七九一八四一四二〇六

費用・宿泊費・食費無料



柳緑 早いもので、秋彼岸を迎えます。皆様お元気でしようか。十月八日から二泊三日で、東北地方巡礼の旅を企画致しております。今回は、

被災地のお寺にお参りに行きたいと思
います。旅行社も宮城の会社にお願
いすることに致しました。JR仙台駅集
合・JR郡山駅解散になります。席が
少し残っております。ご参加の方は、
ご連絡ください。▼十月十九日から一
泊二日で、北軽井沢で禅の会を開催し
ます。研修所の冬支度をしたいと思
います。坐禅の時間は、あまりとれませ
んが、皆様との懇親会も含め、和合の
会にしたいと思っております。ご参加
の方は、寒いと思しますので、冬用の
服をお持ち下さい。▼お檀家様で、お
葬式をだされる場合、知っている葬儀
社がない方は、葬儀社を紹介させてい
ただきます。いざ、ご家族が亡くなる
と、なすべき事がたくさんありすぎて、
慌ただしいのが現状です。仏事に慣れ
ている僧侶の私でさえ、非常に慌ただ

しい体験をしました。もし、お葬式を
だされる場合、僧侶がいらないとお葬式
ができないゆえに、まず、一番はじめ
に龍源寺にお電話を入れていただきた
いと思います。龍源寺本堂もしくは、
花園会館を使用してお葬式・家族
葬・密葬も執り行うことができます。

（本堂・花園会館使用の際は、指定業
者となります。）又、生前のご相談も
うけさせていただきます▼年忌法要を
行う場合、本堂が二階にあるため、ご
高齢の方は階段の上り下りが大変です。
一階の書院を使って法要を行うことが
出来ます。広さと定例会の関係上、平
日、日曜日に限り十五名までお願い
いたします。▼渋谷区広尾にある東北
寺内龍源寺墓地・合同船は、墓地の継
承者を気にしなくてもよい永代供養塔
です。龍源寺の規則を守っていただけ
れば、どなたでもこのお墓を使用でき
ます。ご相談ください。▼私自身、最
近、本の整理や資料の整理をしている
のですが、整理はするのですが、しば
らく読んでいない本や学術雑誌を、ど

うしても捨てられない。学生時代に苦
労して買った本や図書館で時間をかけ
て探しコピーをした資料等、いつか、
使えるのではないか。捨てようとする
と、そんな気持ちでいっぱいになる。
これは、きつと、「過去に対する執
着」と「未来に対する不安」がそうさ
せているのだろう。片付けとは、自分
に問いかけながら、本当に大切なもの
を探す作業なのかもしれません。▼母
は元気にお寺のお仕事をしております。
八月二十日に池田瓢阿先生をお呼びし
て茶約を作る会を行いました。大変な
盛会でした。第二人も、家庭と仕事を
大切にしながらがんばっているようです。

▼九月二十三日の秋彼岸会に御齋のち
らしずしを作ります。前日の二十二日
午後一時から野菜の刻みをします。お
手伝いに来ていただける方がいらっし
やいましたらお願い申し上げます。▼
秋彼岸の日にお会いできるのを楽しみ
にしております。
(信樹)